



(藤本議員)

Q 広島熊野道路の値下げの可能性は。

A 困難ではあるが要望は行っていく。(平本町長)

Q 広島熊野道路は、開通後15年が経過し、一日平均交通量は、約1万台と予想以上の台数で好調に推移している。広島県道路公社への有料道路料金値下げ改定はできないか。

A 公社に確認したところ30年の償還計画とのことである。確かに見込みを上回る交通量ではあるが、それに伴う料金支払い所、トンネル内ラジオ放送の増設など施設維持管理の増額もあり、現段階での料金値下げは困難であるとのことであった。しかしながら町の発展のため、重要な基幹道路であるため、引き続き県や関係機関に強く要望していきたい。

(大瀬戸議員)

Q 行政改革の進捗状況と今後の展開は。

A 各分野において計画的に推進中である。

(橋本助役)



- ① ボランティアセンターの設立経緯、実状と効果
- ② 防犯防災などのボランティア支援の状況
- ③ 職員定数の適正規模の捉え方
- ④ 職員提案制度の提案範囲、実績やその後の状況
- ⑤ スポーツNPO発足後の実状
- ⑥ 外部委託に移行する事業の諸問題と今後の経緯
- ⑦ 公の施設の外部委託化の諸問題、老朽化した施設の対応
- ⑧ 上水道事業の外部委託の可能性

A 第3次行政改革大綱とその実施計画(平成15年度から19年度)に基づく取組みを計画的に推進することにより、より簡素で効率的な行政運営を目指している。

- ① ボランティア参加者と受入側のミスマッチが大きな課題であったため、社会福祉協議会にセンターを設立し、支援することでの解消を図っている。
- ② 昨今の状況から極めて重要であり「防犯まちづくり協議会」等と十分に連携し取組んでいく。
- ③ 総務省が示した定員モデルなどとの比較では現状規模は適正であると考えているが、新規採用の抑制や、職員配置の見直しなどを行いスリムな組織をめざしていく。
- ④ 職員提案制度は導入検討中であり、新たな人事・給与制度における職員能力の評価手法の開発とあわせて整理を行っていく。
- ⑤ 生涯スポーツの普及を町民が主体となり実践活動を通じて推進することを目的に組織化された法人。町民体育館などの指定管理者として、サービスの質的向上に尽力いただいている。
- ⑥・⑦ 施設の本来の目的が、効率的かつ効果的に達成できることが判断の前提となる。施設の老朽化問題も含め慎重に検討していきたい。
- ⑧ 本町は浄水場等の施設を持たないため委託可能な業務に限りがあるが、委託が経営合理化に有効であるかどうか改めて検討する必要があると考えている。